

令和4年度国民健康保険保健事業の取組内容について

事業名	事業概要	備考
(1) レセプトデータ等活用支援事業	市町村を訪問し、KDBシステム等を用いたデータの抽出及び分析方法について学ぶ機会を設けるとともに、市町村がそれぞれの健康課題に応じた保健事業を検討・実施できるよう、指導・助言を行う。	【委託先】 宮崎県立看護大学 【支援市町村】 都城市・日南市・小林市・串間市・高原町・高鍋町・新富町
(2) データ分析による市町村国保データヘルス計画策定支援業務	KDBシステム等に格納された医療・介護データ、健診データ等を用い、データヘルス推進に資する分析を行うとともに、第三期データヘルス計画策定に活用できる県内共通の様式及び指標策定に向けた助言を行う。	【委託先】 株式会社JMDC（分析業務） 宮崎県国民健康保険団体連合会（データ抽出・提供業務）
(3) 市町村国保適正服薬促進支援事業	1) 重複、多剤、併用禁忌薬剤等の該当者をレセプトデータから抽出し、適正な受診や服薬を促す個別通知を送付するとともに介入後の効果分析・評価を行う。 2) 市町村職員が重複服薬者等に保健指導を行う際に必要となる知識やスキルを学ぶための研修会を実施するとともに、市町村に対して薬学的見地から助言を行い、必要に応じて同行訪問する体制を整備する。	1) 適正服薬支援のための薬剤情報通知事業 【委託先】 日本システム技術株式会社（分析・通知発送業務） 宮崎県国民健康保険団体連合会（データ抽出・提供業務） 2) 宮崎縣市町村国保適正服薬促進支援事業 【委託先】 宮崎県薬剤師会
(4) 糖尿病発症予防及び糖尿病性腎症重症化予防研修事業	糖尿病対策に関わる医療機関関係者と市町村保険者の間で顔の見える関係を構築するため、県内の医療機関の医師向け研修会の実施と、二次医療圏単位での研修会を実施する。	1) 医師向け研修会 【委託先】 宮崎県医師会 【研修会】 参加者：医師、歯科医師、保健師、管理栄養士、県行政職員 内 容：「糖尿病連携手帳を活用した地域包括的な多職種医療連携」 2) 二次医療圏単位での研修会 【実施先】 高鍋、小林、延岡、日向保健所 【研修会】 内容：「糖尿病連携手帳の活用を推進するための医療機関と行政の顔の見える関係づくり」について 対象者：かかりつけ医療機関の医師、他
(5) 国民健康保険広報事業	テレビコマーシャルやインターネット広告、ポスター配付などを通じて、予防・健康づくりに関する知識の周知・啓発を行う。	【委託先】 株式会社電通九州宮崎支社